

# 商工新聞

長岡版

発行編集 長岡民主商工会  
長岡市中沢町一六七-1  
0258(33)5948

2024年  
10月14日  
第2213号

10月になって風暑く朝晩涼しい日が続きます。日中半袖でも夜1枚羽織るなど工夫を。

## なくソテ原発！危険の無い安心な地域でこそ商売繁盛

### なくソテ原発2024 柏崎大集会開催

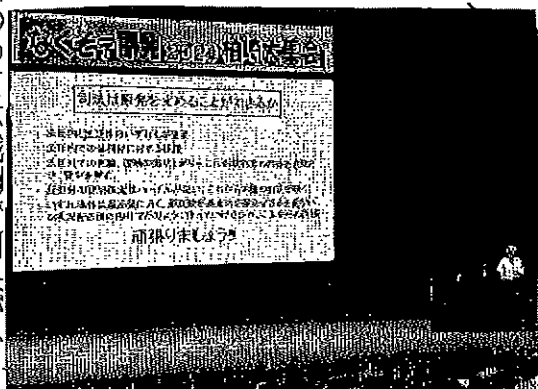
主催・なくソテ原発2024 柏崎大集会実行委員会  
「柏崎刈羽原発・全国の原発を再稼働させず廃炉へ」  
9月29日(日)、柏崎市市民会館アルフォーにて、なくソテ原発2024 柏崎大集会が開催され、県内や群馬・長野などから900人余りが参加しました。長岡民商としての組織参加はありませんが、多くの会員が所属の組織や個人で参加しました。

最初に、2006年に日本初の原発運転差し止めの判決を出した弁護士で元裁判官の井戸謙一氏が、「原発と司法」司法は原発を止める事ができるのか」との題で講演しました。

井戸氏は、現在の裁判官は、下級審(地方・高等裁判所)の裁判官が自分たちの人事・給与を決める権限を持つ最高裁判所の顔色を窺い、最高裁の判決が出るとその後の同種の裁判の下級審の判決が右に倣えになる。実際の原発に関する裁判では、ある裁判官が再稼働差し止めの仮処分を出したあと、2人も裁判官が代わって本裁判で判決がひっくり返る、という事がよくある。自分が2006年に日本で初めて原発運転差し止めを命じた地裁判決はその後高裁で破棄され、最高裁への上告も棄却、その後は住民敗訴の判決が続いたが福島原発事故後は勝訴の判決も出てきた。

現場の裁判官も自分なりの矜持きようじ、自分の能力を信じて誇る気持ちは持っている。それを思い切った判決に結び付けるのは法廷の外での世論の後押し。最高裁も、予算・人事を握る政府の方を見ているが、世論が明確に動けば動く。だから最高裁が原発の運転差し止めを認めざるを得ないような状況を法廷の内外部でいかに作っていかけるかがこれからの課題だとし、最後に「頑張りましょう」と会場の参加者にエールを送りました。

その後、大学教授で新潟県の「原発3つの検証」元検証総括委員の佐々木寛さんが、柏崎刈羽原発の再稼働問題の情勢報告を行い、最後に会場全員で「なくソテ原発！」とカードを掲げてコール。集会後に柏崎市内をデモ行進しました。

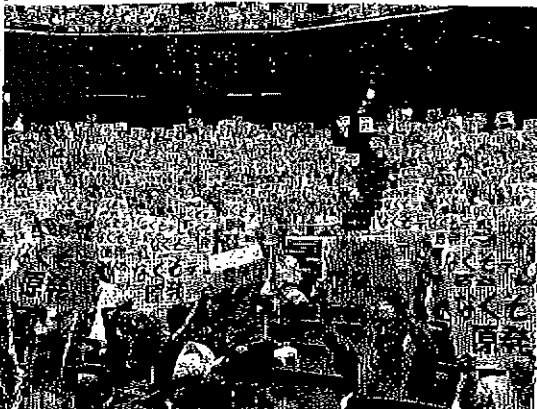


### 消費税なくす長岡各界連絡会 9月の街頭行動

長岡各界連では9月の消費税廃止の街頭行動を、9月27日(金)13時~13時45分アルフォー長岡前歩道にて行いました。参加7名、「消費税を5%に」の署名が1筆、シール投票は「5%に下げるべき」1枚、「10%のままよい」が1枚でした。

署名した人は、「消費税が必要な理由がわからない」と言い、さらに「社会保障のためとか言うけど全然使われてない。消費税いらぬ。法人税と所得税でいい」ときっぱり。その言葉にこちらも力をもらいました。

一方「10%のままよい」とした人は、「いろいろ必要だろっからいいんじゃないの。でも使われ方が不満だから首相官邸に電話するけど岸田は出ない。ただこんな所で立って話したって何の役にも立たないよ」と署名を断って行きました。



### 酒井会長オンラインで消費税の歌をうたう

9月27日(金)午後、「消費税をなくす全国の会」の総会がオンラインで開催されましたが、その際、長岡民商の酒井会長が、なくす会メンバーの新潟合同経理事務所星野所長から依頼され、会議中、事務所に置かれたパソコンのカメラに向かって、いつも長岡各界連の街頭行動で歌っている「消費税は5%に」の歌を歌いオンラインで中継されました。反応は上々、「歌詞を送って欲しい」との依頼もあり、会長も手こたえを感じていました。



### 10月1日から最低賃金が上がっています

今月支払う給与と分からアルバイト・パート・正規職員関係なく1時間985円以上にする必要があります。日給・月給にも適用されますので、それぞれ所定の労働時間に換算して最低賃金を下回る事のないよう気を付けましょう。

